

教科：国語

科目：文学国語

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～ F組

(A E:筒井) (B D:坂口) (C F:倉田)

教科担当者：

使用教科書：

大修館書店 『文学国語』

教科	国語	の目標：	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝えあう力を高め、思考力や想像力を伸ばす。		
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		

科目	文学国語	の目標：	文学作品を主体的に読むことを通して、多様な解釈の可能性を知り、自らの感性を磨き、深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけさせることを目指す。
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
		【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 文	書 読					
1 学 期	単元 随想・評論 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。【(1)ア】 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深める。【B(1)カ】 【学びに向かう力・人間性等】 ・筆者のもの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深める。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 筆者の経験にもとづいた考えを読み取る。 自身の人生における「選択」について考える。 教材 教科書・便覧・端末入力	語文	書読	単元 随想・評論 【知識及び技能】 ○心情の吐露や呼びかけなど、体験をもとに読者へエールを送る筆者の工夫をおおむね理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○本文の各場面における、筆者のおかれた環境とそれぞれの「選択」の理由をおおむね理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○筆者の考えに対して、自分の体験や今後の生き方と関連づけようとしている。	○	○	○	3
	単元 小説 【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。【(1)ウ】 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。【B(1)ア】 【学びに向かう力・人間性等】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わう。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 李徴の心情や境遇を理解する。 教材 教科書・便覧・端末入力	語文	書読	単元 小説 【知識及び技能】 ○注や辞書を参考にして、普段なじみのない漢語の意味を大体理解している。 ○作品と中国古典文学との関わりを知り、作品の成立背景を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○場面の展開を理解し、作品の構成を大まかに把握している。 ○李徴が虎になった理由を、場面ごとに李徴の独白から読み取っている。 ○「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」とはどのようなものか、文脈から読み取り、作品の主題を大まかに理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○小説を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分自身の考えと他人の考えを比較しながら、もの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
2 学 期	単元 小説 【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。【(1)イ】 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。【B(1)ア】 【学びに向かう力・人間性等】	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 登場人物の心情理解をとおして、自己の生き方や他者との関わりを学ぶ。 本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。 教材 教科書・便覧・端末入力	語文	書読	単元 小説 【知識及び技能】 ○作者についての知識をもち合わせ、日本近代文学史の大まかな流れを理解している。 ○語句の意味を、注や辞書を手がかりにして理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○作品のあらすじをつかみ、各段落の内容や展開を理解している。 ○Kに対する「私」の気持ちの推移を考えながら、整理している。 ○作品のテーマについて、自分の考えを書き留めたり、感想文にまとめたりしている。 【学びに向かう力・人間性等】	○	○	○	17

	・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わう。				○小説を読み、登場人物の行動や心情、情景を味わおうとしている。 ○作品のテーマや感想などについて、話し合いに参加し、自分の意見を述べようとしている。						1
	定期考査					○	○				1
3 学 期	単元 詩・短歌・俳句 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。【(2)ア】	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 朗読によって詩のリズムや響きを味わう。 表現の特色や効果について理解する。 教材 教科書・便覧・端末入力	○	○	単元 詩・短歌・俳句 【知識及び技能】 ○語句の意味を正しくとらえ、比喩などの表現技法の効果を理解している。	○	○	○	○	○	4
	【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈する。【B(1)イ】				【思考力・判断力・表現力等】 ○作品を感情豊かに音読し、リズムや響きを味わいながら、その効果について考察している。 ○「竹」の表現の特色について、表現技法に着目しながら正しく読み取り、その効果について考察している。						
	【学びに向かう力・人間性等】 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わう。				【学びに向かう力・人間性等】 ○詩歌を読むおもしろさを体験し、詩歌への興味、関心をもととしている。						
	定期考査					○	○				1

合計

35